

平成24年8月26日
今週のベストショット



平成24年8月26日 奈多グラウンド ブルーマーリンズ 対 奈多クラブ戦
2年半ぶりの勝利で少年のような笑顔が眩しいブルーマーリンズの選手たち。おめでとう！
(写真：雁ノ巣ライナーズ 三宅基裕)

雁レクD ~全勝の奈多フェニックス敗れる~

奈多サンデーズ (8勝1敗1分) 4 1 5 2 1 2 塚本○ー荒口

奈多フェニックス (9勝1敗0分) 1 1 0 0 2 西藤●ー実延新伍

HR：田中、野々下、塚本(奈多サ) 2BH：八島(奈多サ) 今林文(奈多フ)

一回表、サンデーズは四球等で2人ランナーを溜めて3番の田中俊弘選手がホームランを放ち3点、さらに1点を加え4点を先制する。対するフェニックスは2番今林文彦選手の二塁打で出塁し、4番の今林英二選手のヒットで生還し1点を返した。二回はお互いに1点ずつ追加し、三回表、サンデーズはヒットの他に、四球やワイルドピッチで打者一巡し得点を重ね、一挙5点を追加する。最終回にも野々下選手、塚本選手のホームランで2点を追加。フェニックスも毎回ヒットを放ちランナーを出すも、得点には繋がらなかった。また、この試合は好守を見せたサンデーズの荒口捕手と、苦しむピッチャーを励まし続けたフェニックスの実延新伍捕手の、チームの要のそれぞれ違った活躍の仕方が印象的だった。(記事：新町ウインズ 野田智一、写真 早田主大)



好投した奈多サンデーズ塚本投手、最終回にはHRも放った。



最後まで投げ抜いた奈多フェニックス西藤投手。



初回、3ランHRを放ったサンデーズ3番田中俊弘選手。



初回到ヒットで1点を返したフェニックス4番今林英二選手。



ボールを後ろに逸らさない好守が光ったサンデーズ荒口捕手。



苦しいピッチングとなった西藤投手を励まし続けた実延新伍捕手。

青松園A

レッドサンデーズ (2勝9敗0分) 0 1 1 1 0 3 嶋村●、土田一三船
 三友クラブ (3勝7敗0分) 6 0 0 4 × 10 足達○ー小島
 HR: 神田 (レッド) 3 BH: 森野 (三友) 2 BH: 竹岡 (三友)

一回裏三友クラブは、レッドサンデーズ先発嶋村投手の大乱調で、8四死球と1安打で6点を先制。反撃したいレッドは、二回表4番神田選手のHRで1点を返し、さらに追加点を挙げ3点差となった四回表二死から満塁とし、一打出ると試合の流れが大きく変わる場面で、好打者1番土田選手に打席が回る。しかし三友クラブ足達投手の力投で遊ゴロに抑え追加点を防いだ。三友クラブはその裏、レッド2番手の土田投手から追加点が奪えない状態だったが、二死二塁から打線が爆発し、5番森野選手の左越えタイムリー三塁打、6番坂本、9番足達選手のタイムリーで一挙4点を追加し三友クラブが勝利した。(記事、写真: 三苦ホーネッツ 永島貴文)



二回表レッドサンデーズ4番神田選手のホームラン。



四回裏タイムリーを放つ三友クラブ足達選手。



力投する三友クラブ足達選手。



ファールフライに飛びつく三友クラブ小島捕手。

雁レクA

三苦フレンズ（1勝7敗2分）0001020 3 塔本●ー佐藤

三苦三球会（7勝2敗3分）000303X 6 吉留○ー山崎

2BH：佐藤（三苦フ）堺和彦、堺達也（三球会）

序盤は両軍とも走者を出すのが両投手が踏ん張り無得点。四回表フレンズはエラーと四球で無死一二塁のチャンスに5番生野猛選手が中前先制タイムリー。更にPBで無死二三塁となるが後続が倒れる。その裏三球会は一死後3番洪田選手が出塁し、4番堺和彦選手の三塁線を破る二塁打で追いつくと6番堺達也選手の二塁打で逆転し、更に1点追加。このまま終われないフレンズは六回表、先頭三番生野拓磨選手が中前ヒット、守備がもたつく間に三塁へ。続く4番佐藤選手の左前タイムリーで1点差とし、WPと盗塁で三進すると7番溝ノ上選手の左犠飛で同点。追いつかれた三球会はその裏先頭3番洪田選手が四球、4番堺和彦、5番小倉選手の連打で勝ち越すと一死満塁で代打藤澤選手の2点タイムリー。最終回三球会吉留投手が3人でフレンズの攻撃を抑えゲームセット。チャンスに打線が繋がった三球会に軍配が上がった。（記事：新町ウインズ 野田智一、写真：早田主大）



朝とは言え暑い日差しの中、熱戦が始まる。



一回表、四球で出たフレンズ生野拓磨選手を刺す三球会。



二回裏、負けじと三球会小倉選手の盗塁を刺すフレンズ。



軽快に捌くフレンズ溝ノ上選手。



ファウルと思われたが追いつき捕球したフレンズ寺山選手。



四回表、隙をつき三塁を奪ったフレンズ生野拓磨選手。



先制のホームを狙う三苦フレンズ生野拓磨選手。



四回裏タイムリーを放った三球会4番堺和彦選手。

奈多グラウンド ～ブルーマーリンズ二年半ぶりの勝利！！～

ブルーマーリンズ（1勝9敗1分） 5 4 1 7 0 17 綱脇○ー尾田

奈多クラブ（2勝8敗0分） 2 0 1 1 2 6 安部健太●、今林常光ー赤沢大輔

HR：安部健太（奈多ク） 3 BH：小柳、友重、綱脇（ブルー）

2BH：友重、横山（ブルー）、安部健太×2（奈多ク）

一回表ブルーマーリンズは、2番友重選手の右二塁打、3番横山選手の右前タイムリーの後、連続四球のランナーを置いて9番浜崎選手の右中間タイムリーなど、幸先良く5点を先取。対する奈多クラブはその裏、4番安部健太選手の右中間タイムリーで2点を返す。しかし二回表ブルーマーリンズは、横山選手が右中間二塁打で出ると、5番小柳選手の右中間タイムリー三塁打、8番山野選手の左前タイムリーなどで4点を加え、引き離しにかかった。さらに四回表にも手を緩めることなく、連続四球のランナーを置き、友重選手のこの日3安打目となる左中間三塁打などで大量7点を加え、勝負をつけた。奈多クラブは三回裏の安部健太選手の本塁打や五回裏の4本の長短打などで反撃をしたが、安部健太投手の乱調に付け込まれた形で奪われた大量失点を覆すことはできなかった。ブルーマーリンズは二年半ぶりの勝利を大差で飾った。

（記事、写真：雁ノ巣ライナーズ 三宅基裕）



ブルマーリンズ先発、綱脇投手。今日は違う！



リリーフに立った今林常光投手。



一回表、Bマーリンズ3番横山選手が右前先行タイムリー。



一回表、Bマーリンズ9番浜崎選手が右中間へ2点タイムリー。



四回表、Bマーリンズ友重選手の三塁打で悠々生還する山崎・末松両選手。



五回裏、代打オレできっちりタイムリーヒットを放つ奈多クラブ今林辰也監督。



2年半振りの勝利、笑顔のブルマーリンズの選手たち。

第19週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

8月最後の試合は、晴天の下4試合行われました。

その中でも目玉が2つ。

まず、雁レクDの首位奈多フェニックス対2位奈多サンデーズ戦は、フェニックスの誇る池見・今林勇太両投手が不在のため、普段サードを守っている西藤選手が登板するというスクランブル状態。対する奈多サンデーズはほぼフルメンバーでこの首位攻防戦に臨みました。結果は火を見るより明らかな12-2で奈多サンデーズが大勝。サンデーズは初回から隙を見せない試合展開で、7安打ながら4HRと自慢の長打力を披露。今回もサンデーズ3番田中、5番野々下選手が揃ってHRを放ちました。フェニックス西藤投手も実延新伍捕手のアドバイスの下、良く投げましたが、サンデーズ相手では荷が重かったですね。

目玉2つ目は、奈多グラウンドのブルーマーリンズ対奈多クラブ戦で、Bマーリンズが17-6で2年半ぶりの勝利を挙げました。b(^v^)dオメデトウゴザイマス。絶好調の2番友重選手の3安打をはじめ、計10安打を放ったBマーリンズは、それを上回る11安打を打たれながらも綱脇投手が要所を抑えるピッチングを披露。表紙を飾ったBマーリンズ選手たちの笑顔が印象的でした。

青松園Aのレッドサンデーズ対三友クラブ戦は、初回の4連続を含む8四死球にヒット1本で6点を挙げた三友クラブが試合を有利に展開して、4回にも集中打で4点を奪い、レッド4番神田選手にHRを打たれながらも5安打に抑え込み、10-3で三友クラブの勝利。レッド嶋村投手も制球が鍵ですね。

雁レクAの三苦フレンズ対三苦三球会戦は、フレンズが先攻しては三球会が逆転、追いついては引き離すという一進一退の攻防。四回表に先制したフレンズでしたが、追加点を奪えなかったのが痛かったですね。三球会は最後にとっておきの代打藤澤選手が仕事をしました。6-3というスコアに辛うじて勝った三球会山崎選手もフレンズの中軸の強さを実感していました。フレンズはあと一、二枚選手が必要ですね。

夜はまだ暑いですが、明け方はかなり涼しくなってきました。気温差が大きくなってこの季節、風をひかないよう気を付けましょう。寝るときは、明け方寒く感じたらすぐに羽織れるタオルケットでもそばに置いておく方がいいですね。